



認め合い、みんなで力を伸ばす子に ～絆づくり～

初夏の香りが漂う頃となり、毎朝子どもたちを迎えていると、朝の気温が少しずつ高くなっていくのが分かります。そうした中、「おはようございます。」と先にあいさつをしてくれる子、お辞儀をしてくれる子、目を見てあいさつをしてくれる子などわずかな時間ですが、気持ちのよい一日の始まりです。子どもたちも清々しい一日のスタートになっていけば嬉しいです。

しばらくぶりに、子どもたちをいつも見守ってくださる方々との対面式を行いました。あいさつだけでなく「行ってらっしゃい。」「気を付けてね。」「今日も元気でね。」と、どの方もいつも子どもたちに声をかけて優しい瞳で見守ってくださっています。この式でもお一人ずつ子どもたちに語りかけてくださいました。《見守り隊との対面式》そして、子どもたちから、日頃の感謝の思いや嬉しさを伝えることができました。



こうした活動は、本校の“絆づくり”部が中心となって行っています。教職員が3つの部（学び・心みがき・絆づくり）を分担し、学校教育目標達成に向けて子どもたちと共に様々な活動に取り組んでおります。“絆づくり”部では下記の3つの指導項目を重点に取り組んでいます。

絆づくり 重点項目

- 互いを認め合う集団づくり: 仲間との対話・ふり返り活動、子どもを中心にした委員会等活動の充実
- 多様な人との教育活動: あいさつの励行、地域の方々や園児、中学生、高校生、たてわり班、ペア学年等の交流
- コミュニティスクールを活用した教育活動の推進: 地域行事やコミスクールの活用、情報発信



《1年生を迎える会》

5月に実施した1年生を迎える会や運動会でも委員会や係といった子どもが中心となり、たてわり班で活動したり、異学年で練習に励んだりして懸命に取り組みました。そういった日々の生活の中で思いどおりにならないことにもたくさん出会います。そんなときに、どのように折り合いをつけていくのかを学ぶことも、生きていく上でとても大切な力です。この力を身に付けていくためには、**多様な人と出会うこと、そして、共にいろいろな体験をすることが大切だ**と考えます。

遊びの中での譲り合いや、運動会のスローガンのようにあきらめずに最後までやり抜いてできるようになったことなど、一つ一つの体験を通して、**我慢すること、感謝すること、向き合うこと、相手を思いやること、互いの違いを認め合うこと**など大切な「生きる力」を身に付けていきます。思いどおりにならない壁にぶつかることも、成長には欠かせないものです。

新しい環境に少し慣れてきたこの時期には、思い込みで行動してみたり、心ない言葉で相手を傷つけてしまったりすることもあります。子どもたちを信じることは大切ですが、もし、子どもがまちがっていたら正していくことも大人の責任です。子どものよさを認めながら、時機をとらえて必要なアドバイスをしていくことも大切です。小羽山小の子どもたちを、多くの方が見守ってくださっていることに心より感謝しております。子どもたちが認め合ってみんなで力を伸ばしていくことをめざして、必要な力を共に育てていきましょう。

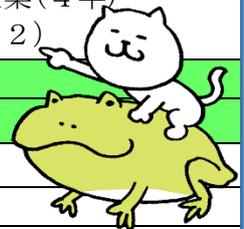


<6月の主な行事>



1	土		16	日	
2	日		17	月	委員会活動 SC来校 (10-16) いじめ問題対策会議①
3	月		18	火	引き渡し訓練
4	火	4年社会見学	19	水	4校時授業 すくすく教室
5	水	フッ化物洗口 すくすく教室	20	木	小中合同あいさつ運動 リコーダー教室 (3年)
6	木	自然体験型環境学習～アクトビレッジおの～ (3年) 内科検診 (高学年) 水泳前健康相談	21	金	海のゴミ問題授業 (4年) お話の会 (2-2)
7	金	お話の会 (2-1) プール清掃	22	土	
8	土	すくすく教室	23	日	
9	日		24	月	
10	月	全校外庭掃除デー 歯みがき大会 (5-1) (プール清掃予備日)	25	火	
11	火	ゴミ問題出前講座 (4年) ものづくり教室 (特支)	26	水	演劇教室 (午前) フッ化物洗口 すくすく教室
12	水	フッ化物洗口 プール開き すくすく教室	27	木	学校運営協議会②
13	木	新体力テスト	28	金	クラブ活動
14	金	代表委員会 (新体力テスト予備日)	29	土	
15	土		30	日	

校区合同メディアチャレンジ週間



◆ 7月以降の予定



- 2日 (火) 参観日 個人懇談 (希望者) 12日 (金) お話の会 (1-2)
 5日 (金) お話の会 (1-1) 19日 (金) 1学期終業式 給食終了
 8日 (月) SC来校 (PM)
 10日 (水) 4校時授業 (児童13時下校) 8月26日 (月) 2学期始業式 給食開始

メディアチャレンジ週間の取組 (6/20~6/26)

近年、大人だけでなく子どもたちの間でも広く浸透しているインターネットの世界。インターネットを通じて、知りたい情報を瞬時に得たり、今居る場所から世界中のだれとでもつながったりと、私たちはインターネットの便利さを存分に楽しんでいます。



一方で、メディアと脳との相関関係が科学的にも解明され始めてくるにしたがって、「スマホ脳」「ゲーム脳」といった言葉が社会全体で問題視されるようになってきました。また、昨年度に実施した本校の学校評価アンケート結果からは、設問「(我が子は)メディアとの関わり方や読書等において、家庭で決めたルールを守っている」の評価が低下 (前期 67.7%→後期 65.0%) していることから、子どもたちとメディアとの正しい関わり方は子どもたちを支える我々大人にとっても重要な課題といえます。

そこで、本年度も桃山中学校校区合同でメディアチャレンジ週間を実施します。今年度は、単にゲームやスマホを使わない時間を確保するだけでなく、ゲームやスマホなどに触れなかつ



た時間を読書や体力づくりといった内容を自分たちで考えて有効活用できるような取組にしていきたいと考えています。詳細はおってお知らせいたしますので、保護者の皆様にもご理解をいただくとともに、ぜひお子様とふれあう時間などにご活用いただきますようお願いいたします。

